

## 第5回学会賞（実践部門）受賞理由

### デンソー健康保険組合

#### ——データとエビデンスに基づく実証的保健事業の展開

- (1) 実践内容：生活習慣病予防を中心として健康づくり事業の提案およびその事業提案実施に先立つ、科学的な根拠に基づいた健康づくり事業実施のための継続的な評価を2004年度から実施してきた

デンソー健康保険組合では、健康増進と予防に努める、早期発見と重症化の防止を図る、費用対効果を検証し常に改善する、検証はデータとエビデンスに基づくとのビジョン効果的な保険事業を実践してきた。その結果、生活習慣病予防を中心として健康づくり事業については、国の施策「特定健診保険指導」に先立ち、生活習慣病予防に取り組み、成果を上げ、当初より国の目標を達成した。科学的な根拠に基づいた健康づくり事業については、データに基づく予防を中心とした保健事業を展開すべく、国の施策「レセプトオンライン化」に先立ってレセプトのデータ化を実現して、エビデンスに基づく保健事業を展開してきた。

- (2) 受賞理由

デンソー健康保険組合は、保険者としての基本的なあり方（ミッション）を、加入者のQOLの向上が第一、セーフティネットとしての給付の充実が第二、これを支える財政の健全化は第三としている。このミッションを実現する、長期的な取り組み方針とあり方であるビジョンを上記のとおり定め、データとエビデンスに基づく実証的保健事業を展開してきた。

同健康保険組合の取り組みは、現在更に向上発展している。例えば、歯科・医科医療費の相関分析に基づき、歯科健診の推進に取り組むなど健康保険組合の集団の特性に即した独創的保健事業まで発展している。